

## 令和4年度 砂丘小の学校評価(令和4年12月実施) アンケート集計結果と考察

【評価】 A…とても思う B…そう思う C…あまりそう思わない D…全くそう思わない E…わからない 【単位は%】

		評価	児童	保護者	教職員
1 学校教育目標 一心に学ぶ子	(1) 学力	A	<b>37</b>	33	0
		B	<b>56</b>	50	80
		C	6	11	<u>20</u>
		D	1	0	<u>0</u>
		E		6	0
	(2) 思いやり	A	<b>51</b>	<b>54</b>	<b>70</b>
		B	<b>38</b>	<b>41</b>	<b>20</b>
		C	11	1	10
		D	0	0	0
		E		4	0
	(3) 規範意識	A	43	<b>35</b>	<b>20</b>
		B	46	<b>56</b>	<b>70</b>
		C	10	5	10
		D	1	0	0
		E		4	0
2 分かる授業・楽しい授業	(1) 基礎基本の定着	A	<b>81</b>	43	<b>0</b>
		B	<b>16</b>	46	<b>90</b>
		C	3	0	10
		D	0	0	0
		E		11	0
	(2) 学ぶ意欲を向上させる授業の工夫	A	<b>68</b>	35	<b>40</b>
		B	<b>30</b>	45	<b>60</b>
		C	2	3	0
		D	0	0	0
		E		17	0

太字 90 …AB合わせて90%以上

下線 15 …CD合わせて15%以上

		評価	児童	保護者	教職員	
3 子ども理解	(1) 子供理解を基盤とした指導・支援	A	<b>70</b>	<b>54</b>	<b>70</b>	
		B	<b>22</b>	<b>44</b>	<b>30</b>	
		C	7	0	0	
		D	1	0	0	
		E		2	0	
	(2) 安心できる学級・集団づくり	A	<b>57</b>	<b>52</b>	<b>80</b>	
		B	<b>33</b>	<b>39</b>	<b>20</b>	
		C	7	2	0	
		D	3	2	0	
		E		5	0	
	(3) 生命の尊重・規範意識の醸成	A	<b>80</b>	<b>56</b>	<b>70</b>	
		B	<b>13</b>	<b>41</b>	<b>30</b>	
		C	6	1	0	
		D	1	0	0	
		E		2	0	
4 開かれた学校	(1) 相談体制	A	40	<b>56</b>	<b>50</b>	
		B	43	<b>39</b>	<b>50</b>	
		C	<u>14</u>	2	0	
		D	<u>3</u>	1	0	
		E		2	0	
	(2) 家庭・地域との連携	A			<b>50</b>	<b>70</b>
		B			<b>46</b>	<b>20</b>
		C			2	0
		D			0	0
		E			2	10
	(3) 情報の提供	A			<b>59</b>	70
		B			<b>35</b>	30
		C			2	0
		D			4	0
		E			0	0
	(4) 安全管理	A			<b>61</b>	50
		B			<b>30</b>	50
		C			3	0
		D			0	0
		E			6	0

		評価	児童	保護者	教職員
5 キャリア教育	(1) 自己肯定感	A	45	<b>48</b>	<b>30</b>
		B	28	<b>44</b>	<b>60</b>
		C	<u>21</u>	4	0
		D	<u>6</u>	2	0
		E		2	10
	(2) 自己管理能力	A	55	26	<b>30</b>
		B	32	<b>61</b>	<b>60</b>
		C	11	7	0
		D	2	2	0
		E		4	10
	(3) 将来の夢	A	<b>73</b>	<b>37</b>	<b>20</b>
		B	<b>14</b>	<b>50</b>	<b>70</b>
		C	5	9	0
		D	8	4	0
		E		0	10

### 【考察】

児童の「自己肯定感」に関する項目以外はいずれも80%をこえ昨年度同様高い数字となりました。また、「学力」「基礎基本の定着」「安心できる学級づくり」等、昨年度より高い数字となっています。

【本校の強み】  
アンケートからは、児童にとって安心できる環境で教育活動が行われており、学習面で満足のいく指導ができていることが分かります。  
昨年同様、本校はCS(コミュニティー・スクール)の活動が充実しており、家庭や地域との連携も十分にとれており、ホームページ等で教育活動を広く知らせていることも認知されているようです。

【本校の課題】  
しかし、キャリア教育に関する3項目では、学校の指導が十分になされたということができません。特に、「自己肯定感」を育む教育活動に積極的に今年度以上に取り組んでいく必要があると考えています。「学力」に関しても年を追うごとに数字を高くしていますが、大人(保護者・教師)のもと学力を付けさせたいという願いと(若干ですが)開きがあります。児童に向上心をもたせ、もっと自分を夢に向かって高めていく指導を行っていく必要を感じています。来年度も今年度以上に児童に寄り添いながら、教育活動を続けていきたいと思います。